



2010年 スリランカスタディツアーでの折り紙教室



平成 22 年度 活動報告書

Annual Report 2010 2010.4~2011.3

認定 NPO 法人 **地球市民の会**
 Terra People Association

| | | | | |
|----------|------|--------|--------|--------|
| Contents | 事業報告 | p1~8 | 3カ年計画 | p24 |
| | 会計報告 | p9~19 | 役員リスト | p25~26 |
| | 事業計画 | p20~22 | 変遷・組織図 | p27 |
| | 予算 | p23 | | |

新しい地球市民の会へ向かって、
各事業担当者がそれぞれの事業に新しい展開を提案してきました。

◆ 認定 NPO 法人になりました。

古賀 武夫前会長が亡くなるころ、前回の認定 NPO 法人の国税局による調査があり、古賀前会長は認定されることを最後まで願っていたにもかかわらず不採択となりました。しかし、今回、認定 NPO 法人の特例が実施され、今回改めて認定される運びとなりました。わずか2年で再申請できたのは、運が良かったとしか言えません。また、古賀前会長の念願を残された理事会、事務局で実現できたのは3回忌の弔いになったのではないかと考えます。

古賀前会長が産み育てた地球市民の会が新しい姿で成長していく1年目となりました。

◆ ミャンマーで大型事業を実施、JICA の3カ年事業も採択されました。

ミャンマー駐在員・本部担当が女性3人体制となり、それぞれの個性とコミュニケーションにより、新しいことに挑戦しました。外務省の NGO 連携無償支援資金で道路建設、3ヶ年の JICA の草の根パートナー型でのミャンマーにおけるコミュニティビジネス事業なども採択され、地球市民の会の中核的事業としてがんばっています。

◆ タイ事業も新しい展開へと進化します。

タイの子供の教育支援のためのチャリティ・ショップを開店しました。それに伴い、ボランティアさんの参加や現地視察など今までよりも活動に幅が広がってきました。企業さんも地場のニューポーン新古賀さん、小松商店さん、佐賀広告センターさんのほか損保ジャパンさんの協力へと広がりました。

◆ 中山間地元気再生事業、と新カチガラス計画のコラボ実施。

佐賀市の委託事業で佐賀市の中山間地の村落開発事業に、新カチガラスのホームステイプログラムを組み合わせ、相乗効果の上がる事業にいたしました。韓国人の大学生は富士町大串集落のありのままの姿に感動し、地域の方々にも新しい発見を体験いただきました。

◆ ありがとう1万人キャンペーン実施しています。

認定 NPO 法人に認定いただけたのも、会員はじめ多くの方々のおかげなので、会員さんを初め、当会のイベントへの参加や、ボランティアの方々に「ありがとうカード」を贈らせていただいています。1年間に延べ1万人にカードをお配りすべくがんばっています。

活動方針

「感動共感1万人キャンペーンは」で活動を多くの人に伝えよう

感動共感1万人キャンペーンは地球市民の会の会員、事業・イベントや講演へ参加、寄付、協力していただいた方に「感動共感ありがとうカード」をお贈りしています。通しナンバーが付いており、世界に1枚しかありません。3枚揃うと缶バッジを差し上げています。7月1日から今年6月30日までに1万人にお渡しする目標で、現在7千枚をお配りいたしました。あと、3千枚、皆さまのご協力で是非達成したいと思います。

最重点活動

- 1、会員の「感動満足度」を高めよう
- 2、会員以外の地域の人々に感動体験・感動情報を提供しよう
- 3、経営の「カイゼン」に挑戦しよう

昨年度の最重点活動の事項は単年度の目標というものではなく、地球市民の会が継続的に目標とすべきものであり、今後とも意識して取り組む目標とします。また、次年度以降はもう少し具体的な目標を立てるよう致します。

重点活動

1、ミャンマー事業のフェーズ3とタイ事業の事業形態改善

フェーズ3に関しては3年間の事業をJICA(国際協力機構)に提案し採択されましたが、事業実施のためのミャンマー政府とのミニッツ(協約書)が取り交わせない為に止まったままです。現地駐在も努力をしていますが、ミニッツが交わせないのは、当会とミャンマー政府とのMOA(事業実施同意書)の期限が本年9月までなので、3年間の事業がスムーズに進まない理由となっています。

タイ事業は1対1の奨学金からタイ教育基金での支援体制に移行しています。

2、中山間地の元気再生事業のパイロット事業開始とTPA版「農」事業の立案

中山間地の元気再生事業はパイロット事業が立ち上がっていません。集落点検まで届いていない点に問題があります。最終年度に向けて、ピッチを速めなければなりません。TPA版「農」事業の立案は至りませんでした。

3、チャリティショップの開店とチャリティ・ネット・ショッピングモールの運用開始

チャリティショップは各企業様のご協力もあり、無事動き出しました。寄付品を集めるのに苦勞をしており、効率的な方法を考えなければなりません。チャリティショッピングモールは本格運用にまで手が回っていません。人手の足りなさが一番の問題かもしれません

重点活動は成果が表れてきませんでした。通常業務や急な作業などが入りじっくり取り組む事が出来ない場合もあります。優先順位の中でいかに投下労働力を効率的にするかが今後の課題です。

平成22年度事業報告概要

| 事業名 | 事業内容 | 実施日時 | 実施場所 | 従事者の人数 | 受益対象者の範囲、人数 | 支出額(千円) |
|-------------|-------------------------------|--------------|------------------------|--------|--------------------------------|---------|
| 国内所業 | 中山間地元気再生事業 | 通年 | 佐賀市富士町・三瀬 | 2人 | 佐賀市富士町・三瀬の住民延べ300名 | 690 |
| | 山と街とのそーし・そーあい大作戦 | 8月～H23年1月 | 佐賀市富士町・三瀬 | 10人 | 佐賀市民 250人 | 481 |
| | 講師派遣事業 | 通年 | 佐賀県及び福岡県、その他 | 5人 | 一般聴講者 2500名 | 55 |
| | ミャンマー写真展 | 9～3月 | 佐賀県内5ヶ所 | 3人 | 一般参加者 850人 | 149 |
| | 物販販売 | 通年 | 佐賀事務所 | 3人 | 会員 12名 | 124 |
| 小計 | | | | | | 1499 |
| 奨学金事業 | タイ地球市民奨学金支給 | 12月 | クーキャオ校、ボーゲウ校 | 3人 | タイ人受給生徒315名、里親223名 | 1,862 |
| | スリランカシヨダヤ奨学金支給 | 5月 | サンガミッタ女子校 | 3人 | スリランカ人受給生 10人 | 120 |
| | さとおやの集い(カレーランチ会、クッキング教室、映画鑑賞) | 4月/9月/11月 | 地球市民の会事務所/地域公民館 | 14人 | 里親 56人 | 0 |
| | スリランカ里親ツアー | 3月 | スリランカ(コロンボ、ゴール、ラトゥナプラ) | 6人 | 日本人参加者3名、サンガミッタ女子校生徒、地域住人 | 631 |
| | 奨学金 調査費(タイ語手紙翻訳) | 9月～3月 | 佐賀市内 | 1人 | 日本人延べ11名 | 14 |
| | チャリティーショップ運営 | 通年 | 佐賀市内 | 18人 | 寄付者45名、市民の皆さん | 755 |
| | チャリティーショップ&フェアトレードセミナー | 7月/12月 | アイスクエアビル/アバンセ | 11人 | 33人 | 210 |
| | 出張出店 | 9月/12月/1月/2月 | 佐賀市内 | 42人 | 来場者 | 0 |
| | タイチャリティーショップ支援地視察ツアー | 11月 | タイ(ウドンタニ、カラシン) | 5人 | 日本人参加者10名、クーキャオ校及びボーゲウ校生徒、地域住人 | 1,106 |
| 小計 | | | | | | 4,698 |
| ミャンマー事業 | インレー湖流域の自然資源活用による環境改善プロジェクト | 通年 | インレー湖、周辺村6カ村 | 11人 | 3000名+インレー湖を利用する人 | 1,826 |
| | 循環型農業8日間研修 | 年間5回 | ナウンカ地域開発センター | 8人 | 7日間研修参加者、村人 | |
| | ティハムスエ村緑化事業 | ～2010年8月 | ティハムスエ村 | 7人 | 1000名 | 589 |
| | カンタン村緑化事業 | 2010年9月～ | カンタン村 | 6人 | 2000名 | |
| | タンボジセンター運営 | 通年 | タンボジ青少年育成センター | 12人 | 16名+家族や村の人 | 125 |
| | 自然を愛する若手リーダー育成 | 通年 | タンボジ | 12人 | 16名+家族や村の人 | 460 |
| | マジーピン・パリリン村道路建設 | 2010年10月～ | マジーピン村～パリリン村 | 4人 | 2万人(道路に面する村、または使用する人) | 28,736 |
| | ナウンイン準中学校建設 | 2010年9月～ | ナウンイン村 | 4人 | 450名+家族や村の人 | 997 |
| | ナーリー村保育園建設 | 2010年11月～ | ナーリー村 | 5人 | 20名+家族や村の人 | |
| | ナーリー村保育園建設事業 | | | | | 1,526 |
| | ハンポー保育園建設 | | ハンポー村 | 5人 | 130名+家族や村の人 | |
| | カンボー保育園建設 | | カンボー村 | 4人 | 120名+家族や村の人 | |
| | ユワマ保育園建設 | | ユワマ村 | 4人 | 100名+家族や村の人 | |
| | JA小規模銀行事業 | 通年 | | 7人 | 76村 | -112 |
| | スタディツアー | 9月、11月、3月 | ミャンマー南シヤン州 | 19人 | 14人 | 2,724 |
| | チャリモ | 通年 | 日本 | 3人 | 30名 地場企業 | 40 |
| ミャンマー事業費繰入損 | | | | | -2,642 | |
| 小計 | | | | | | 34,269 |
| 韓国事業 | 新かちがらす 日韓青少年交流 | 8月22日～29日 | 佐賀市富士町大串集落 | 8人 | 韓国人大学生、日本人大学生、HF、計70人 | 678 |
| | 小計 | | | | | |

TPAは2003年よりミャンマー南シャン州で4つの大きな活動を柱に事業を行なってきましたが、近年、環境破壊が大きな問題となってきたことに伴い、森林伐採やインレー湖水質汚染問題に真剣に取り組まなければならないと考え、新たに5番目の活動として「環境保護」という項目を付け足し、①循環型農業畜産技術の普及、②人材育成・教育支援、③地域開発、④文化交流、⑤環境保護の5つの活動分野において、事業を行っています。

活動状況

<循環型農畜産業技術の普及>

●循環型農業研修●

ナウンカセンター循環型農業7日間研修は5回実施、参加人数は70名。今までの研修参加累計人数は945名にのぼります。今年も、ミャンマー現地のNGOからも参加があるなど、シャン州での有機農業の手本となる存在に成長しています。また、村で要望があればTPAから講師を派遣し短期研修も行いました。研修は、ウ・ミョーミンを中心として現地スタッフだけでもできるようになり、スタッフの成長が見られます。



↑店内の様子

NEW

●ナウン・インレー・マート OPEN●

タンボジセンターの自立に向けた動きとして、2月にコミュニティショップをOPENしました。タンボジで育てた有機野菜、玉子、ヤーコン茶のほか、オープンも入れ、クッキーやケーキも販売しています。これは、タンボジの女子学生の職業訓練にもなっています。また、循環型農業に必要な木酢液なども販売。売り上げはタンボジセンターの運営費に充てられます。



ミャンマーにお越しの際は是非お立ち寄りください!

←鈴木PA

<環境保護事業>



環境テキストを見る村の人たち

●インレー湖循環化事業●

山からの土壌流出による水位の低下、浮き畑での農薬の多投による水質汚染などの問題を抱えるインレー湖。本事業では佐賀大学の五十嵐准教授指導の下、水草を使った堆肥による循環型農業普及と、植林を3ヵ年計画で進めています。昨年は6村において15,600本の植林、農業セミナー12回、植林セミナー8回、環境セミナー6回を実施しました。村や学校で環境セミナーを実施したおかげで皆が身近な環境問題を理解し、植林用の苗木をつくるなど協力して事業を行えるようになりました。(助成：地球環境基金560万円)

NEW

●カンタン村緑化事業●

カンタン村において、水源の涵養を目指した植林事業を行っています。保育園や学校の緑化も同時に行い、森林の大切さを子どもたちと学んでいます。(助成：みどりの募金160万円)

<地域開発支援>

NEW

●マジープン・パリリン間道路建設事業●

本道路は、大変状態が悪く、車の横転事故や病院への搬送が間に合わず死者が出ることも多くありました。また、雨季の学校への通学も困難で、学校に通えなくなる子供も多くいました。今回6.12マイルのアスファルト道路を敷設し、上記の問題も解決する見込みです。今後の道路のメンテナンスは、村の人々がお金を出し合っています。

(助成：外務省日本NGO連携無償資金協力)

<人材育成・教育支援>

●タンボジ青少年育成センター●

タンボジセンターでは将来の農村リーダー育成を行っており、経済的理由で高校に進学できない子どもの支援も兼ねています。毎年16名が寄宿生活をしながら、学業と農業研修に励んでいます。2010年も7名が卒業し、タンボジ卒業生は76人となりました。昨年は「タンボジサポーター」を新設し、10名のサポーターにタンボジ生の成長を応援していただきました。



ゴハンの準備をする寮生

NEW

エコポイント寄附を
いただき、植林教育
も受けています！

●ナウンイン準中学校建設●

教室の不足と、校舎の老朽化が深刻だったナウンイン中学校を建設しました。新しい校舎で445名の子どもが勉強できるようになりました。(支援：社団法人冠婚葬祭互助協会様)

NEW

●ナーリー村保育園支援事業●

佐賀市内の保育園・ひなた村自然塾さまのご支援で、ナーリー村保育園を建設しています。本事業は3ヵ年計画で、ミャンマーの人々と共に歩み努力しながら3年かけて保育園を完成させます。11月にはひなた村の先生と視察に行きました。(支援：保育園ひなた村自然塾様)

●保育園建設支援●

現地では保育園の必要性が高まっています。パオー民族の地域では、パオー語が話されているため、小学校から始まるミャンマー語の授業についていけず、早々に学校を辞めてしまうという問題が見られます。村の人はなんとか解決したいと思っています。その想いに応え、名古屋のNPO豊友会さまのご支援でハンポー村、ユワマ村、カンポー村の3校の保育園が新しく建設されました。

(支援：NPO日本ミャンマー豊友会様)



ハンポー保育園の落成式



ナーリー村保育園訪問

<文化交流事業>



9月スタディーツアー

●スタディーツアー実施・受け入れ●

昨年はTPA ツアーを4回実施、19名がミャンマーを訪れました。ミャンマーの人々の温かさ、こどもの瞳の輝きに、皆さま感動し、本当の豊かさ、幸せとは何かを考えるきっかけとなったと話して下さいました。

カラモジア時代から続く鹿児島大学の国際協力農業体験講座の受入、ドナーである豊友会さま、ひなた村さま、MIZさまの視察ツアーも行いました。

2010年度、そしてこれからのミャンマー事業・・・

2010年度は、政府との契約更新に長期間要したり、総選挙実施で帰国を余儀なくされるなど、なかなか計画通りに事業を進めることができませんでしたが、11月からは、佐賀での約10ヶ月の待機の末、ようやく渡緬した鈴木アドミニストレーターも加わり、ミャンマー事務所はフル稼働。事業の遅れを取り戻し、順調に事業を進めています。

2010年の成果は、現地スタッフが目に見えて成長してきたことです。ベテラン組は言うに及ばず、若手スタッフもきちんと自分の仕事をこなし、提案も多くできるようになりました。これは、これまでの経験と、スタッフミーティングにおいてできるだけ意見を求めるようにしてきた成果ではないかと思えます。

本年からは、TPA ミャンマー事業の最終フェーズとして重要な3年間となるため、ハンドオーバーに向け、スタッフの育成、センターの自立、JICA 事業による有機作物販売ネットワーク整備に力を入れていきたいと思えます。

【タイ事業】

●地球市民奨学金支給●

支給先：ウドンタニ県クーキャオ校
カラシン県ボーグウ校
支給奨学生数：315名
里親会員：223名
1991年～2010年で奨学金受給者 3260名



●さとおやの集い●

里親会員の交流、国際理解教育を目的とした集いを実施。本場タイ料理でのランチ会、タイカレーやデザート調理教室、映画鑑賞、留学生との交流等、計3回の開催で56名（うち会員26名）が参加。気軽に当会の活動、タイのことを知って頂く機会になりました。



NEW

●チャリティーショップ事業●

佐賀地元企業と協働して、チャリティーショップを6月21日開店。タイの子ども達の教育環境改善を目指し、ご寄付頂いた洋服・服飾雑貨を販売する取組み。セミナーの実施、新聞広告掲載、STS かちかちワイド出演、ボランティア参加プログラム等で、会員外の方、企業にも活動の輪が広がりました。

(助成：パナソニック NPO サポートファンド 150万円)

ボーグウ校では、地域で子ども達の教育を支えていく事業として、学校農園（精米、養鶏）の開園を目指すことが決定しました。チャリティーショップの売上が、充てられ、23年度より始動します。学校農園さとおや会員を設ける予定です。

寄付点数：455点
寄付者数：45名
売上：2010年6月～2011年3月
306,200円



学生、女性のボランティアさんがたくさん増えました♪

●スタディーツアー実施●

11月、ウドンタニ県及びカラシン県を訪問。里親会員、学生、青年会議所メンバー、計8名が参加しました。学校の視察、ワークショップ、ホームステイ、地域住人との交流などを体験。活動の意義、地球の一員としての役割に気付く訪問になりました。帰国後、活動への参加へ繋がっています。
(助成：佐賀県県民グループ研究交流事業 40万円)



【スリランカ事業】

●シショダヤ奨学金支給●

支給先：ゴール市サンガミッタ女子校
支給奨学生数：10名
里親会員：9名



1997年～2010年で奨学金受給者 85名

●スタディーツアー実施●

3月、奨学金支給校であるサンガミッタ女子校を訪問。里親会員及び国内事業の協力者、計3名が参加しました。学生との交流、奨学金事業成果発表会、ホームステイなどを実施。また、2004年に小規模水力発電所設置したラトゥナプラの村を視察しました。交流をより深めていける様、現地担当者、元奨学生、学校と取組んでいこうと決意しました。



サンガミッタ女子校
で生徒達と★

年間事業（2010年4月～2011年3月）

| 2010年4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|-----------|-----|-------|---------|---|--|
| | | | | ★新かちがらす | ★ふれあいフェスタ ・STAND UP ・アジアンシアターカフェ |
| 10月 | 11月 | 12月 | 2011年1月 | 2月 | 3月 |
| ★吉野ヶ里炎の祭り | | ★冬フェス | | ★市民活動祭り ・タイラーメン ・写真展・チャリショ ★ミャンマー写真展 | |

◆ふれあいフェスタ（9月19日）

佐賀県国際交流協会主催のイベントに参加しました。フェアトレード商品の販売や飲食物を提供しました。多く学生ボランティアの協力により盛り上がったイベントになった。これらのイベントを通し学生さんとの連携もできた。



通年を通し、(株)ミズとの RTM ほっとかれんもんプロジェクト、佐賀市市民活動推進課と佐賀の演劇人との協働事業の「協働」おもしろ大百科を行いました。

◆新かちがらす

2010年8月に佐賀市富士町大串集落で日韓青少年交流を行いました。日韓共通の問題でもある「過疎化」について日韓の大学生が交流を通し、学びあいました。日韓大学生合わせて19名が参加し、7泊8日の日程で地元の人と交流を行いました。



ホームステイや農業体験、地元の幼稚園での交流、地域の人たちと一緒にゲートボールや集落歩きを行いました。集落からも多くの人のご協力を得て、最後は涙ありの交流会ができました！

◆佐賀から元気を送ろう！キャンペーン設立

3月11日の東日本大地震が発生し、私たちは被災された方々のために何かやりたい！と思って有志が力を合わせて佐賀から被災地へ元気と祈りを届けるキャンペーンを始めました。小さなことでも東北関東の被災された方々に寄り添うような息の長い活動を被災された方々と共に活動を行います。詳しい活動などは、<http://sagakaragenki.sagafan.jp/>をご覧ください。

◆2011年度の事業も精力的に行っていきます！

2010年度は大学生の参加・ボランティアが多く、大学と連携のとれた活動が多くありました。ただ、広報は相変わらず大きな課題であり、一般の方の参加が少ないのが現状です。2011年度は2010年度以上に更なる広報などイベントも精力的に行いますので、今後とも応援よろしくお願ひします。

報告

佐賀市の中山間地を対象に地域の方々と一緒に問題・課題を探し、話し合い、事業をつくりあげていきます。

22年度の主な活動

◆佐賀市富士町大串、市川、古湯集落と三瀬中鶴集落で地域の資源を見つめ直す「あるもの探し」を行いました。



地元の人に地域を案内してもらい、双方で地域の歴史などを学びました。

地域をまわってきた後は話を聞いてきたことを書き入れ、地域の地図を作成しました。その後は、作成した地図を用いて発表しました。長年住んでいたが、意外と知らなかったものを発見したりして地域の人にも地域を再発見できたようです。

◆山と街とのそーし・そーあい大作戦

佐賀市の中山間地の集落と市内の校区の交流を促進すべく事業を行いました。今回は3集落と3校区の交流が行われました。年間を通し、200名の方々に参加いただきました。



①集落の人が校区の親子へ集落のPRと参加呼びかけ。②参加者は集落へ遊びに行き、各集落特徴を活かした自然体験を満喫しました。



最後は、1月にムツゴロウ広場でお世話になった集落での活動を一般の方々へ報告をしました。

子ども達から見た集落の様子や活動した感想などを話してくれました。会場には富士町・三瀬の野菜販売やしし汁販売、もちつきも行われました。

◆ベジボーイズ結成！

佐賀市富士町上合瀬集落では若者が中心となって地域活性グループの「ベジボーイズ」が結成されました。23年度は地域の人たちから愛され応援してもらえる活動を行い、自分たちの集落から元気や笑顔を発信し、上合瀬集落ファンを増やしたい！と熱い若者たちの集まりです。今後の動きにご期待ください！

●23年度も地域から愛される地球市民の会の活動を行っていきます！応援お願いします！

決算報告書

2010年4月1日～2011年3月31日

目次

| | |
|--------------------------|------|
| ◆財務分析と課題 | -P10 |
| ◆平成 22 年度貸借対照表 | -P11 |
| ◆5 期連続貸借対照表 | -P12 |
| ◆平成 22 年度収支計算表 | -P13 |
| ◆5 期連続収支計算表 | -P14 |
| ◆財産目録 | -P15 |
| ◆ミャンマードル会計 貸借対照表、収支計算書 | -P16 |
| ◆ミャンマーチャット会計 貸借対照表、収支計算書 | -P17 |
| ◆ミャンマードル・チャット会計財産目録 | -P18 |
| ◆監査報告 | -P19 |

認定 NPO 法人 地球市民の会
佐賀県佐賀市高木町 3-10

～地球市民の会の健康状態（貸借対照表から）～

- 健康状態は良い状態を示しています。

昨年に比べキャッシュフロー（資金収支）が改善されています。流動資産が 1378 万円（2009 年度）から 1789 万円（2010 年度）になったことで判ります。これは、事業を実施するための資金を常に確保してきた状態が続いていたことを表しています。ただ、ミャンマーでの事業の遅延があり、資金がミャンマーで確保されていたために生じた現象であり、それが正味財産の増加、408 万円→666 万円に反映されています。しかし、これも 2011 年度にすぐに事業に供されますので、一時的でもとに戻ります。

～地球市民の会の経営健全度（収支計算書から）～

- 設立以来、過去最高の収入・支出を達成しました。

本年度の収入の約半分を外務省の NGO 連携無償資金で計上しています。NGO に対する申請限度額が大幅に緩和されたため、今まで地球市民の会が採択されなかった事業にも挑戦できるようになり、多くのミャンマーの人々の基礎的な最低限のインフラ整備がなされました。地球市民の会の現地での評価も高まっています。一事業に依存する状況は危惧されるべきものではありませんが、戦略的に且つ丁寧に事業設計をしていくことが出来れば、大きな心配にはなりません。細心の管理が必要になってきます。経費は人件費が比率を上げています。安定した財源で人件費を確保することも重要なテーマです。

～収入バランスのチェック～

収入比率と推移は以下の通りです。

| | H18 年度 | H19 年度 | H20 年度 | H21 年度 | H22 年度 | 理想① | 理想② |
|-----------|------------|------------|------------|------------|------------|------|------|
| 会費・寄付収入 | 39% | 32% | 29% | 29% | 20% | 40% | 40% |
| 委託金・助成金収入 | 41% | 61% | 57% | 65% | 71% | 40% | 30% |
| 自主事業収入 | 20% | 7% | 14% | 5% | 9% | 20% | 30% |
| 総収入金額 | 43,697,741 | 60,772,944 | 58,071,310 | 45,185,158 | 65,256,983 | 1 億円 | 1 億円 |

- 委託金・補助金・助成金の比率が一段と上がってきています。

各事業担当者が意識を持って自分の担当事業に関わっているために、この比率が高まりました。ここへの依存が非営利団体の一番危険性の潜むところですが、各担当者の積極的な動きによるものなので、依存ではなく、むしろ公益活動に意識をした結果がこうなったということとして捉えるべきです。ただ、収入バランスとしては良いというべきものではなく、なお一層の健全化に取り組む必要があります。

- 会費・寄付金収入が過去最低になっています。

会費・寄付金収入の減少は強く反省すべきところです。現場の事業に熱心になるがため、会員さんや協力者に十分なケアが出来ていないためともいえます。また、長い歴史の中で会員さんの固定化で、新規の会員が入会していないという問題点もあります。その努力が足りないということもあると思われます。

～理想的な財務内容にするために資金調達委員会を設置～

内部強化は長年の課題ですが、なかなか達成できていません。理事会内に資金調達委員会を設置しました。これは、広報やシステムの改善、会員との交流等の機会を作ることなどにより資金源を広げていこうという意図です。引き続き意識を持って取り組む必要があります。

特定非営利活動法人地球市民の会

貸借対照表

2011年3月31日現在

単位:円

| 資産の部 | | | 負債の部 | | |
|------------|------------|------------|-----------|------------|------------|
| 科目 | 前期残高 | 当期残高 | 科目 | 前期残高 | 当期残高 |
| 現金 | 158,867 | 174,774 | 未払金 | 118,000 | 1,962,294 |
| 普通預金 | 6,172,199 | 10,101,509 | 預り金 | 433,021 | 435,177 |
| 郵便貯金 | 2,582,736 | 912,517 | 仮受金 | 36,000 | |
| 郵便振替 | 1,331,994 | 571,824 | | | |
| 現金預金合計 | 10,245,796 | 11,760,624 | | | |
| 未収金 | 150,822 | 44,772 | | | |
| 仮払金 | 0 | 51,130 | | | |
| ミャンマー未使途資金 | 3,392,814 | 6,035,404 | | | |
| 流動資産合計 | 13,789,432 | 17,891,930 | 流動負債合計 | 587,021 | 2,397,471 |
| | | | ボーゲウ前受金 | 336,000 | 300,000 |
| | | | ケーキョオ中前受金 | 646,800 | 448,400 |
| | | | ケーキョオ高前受金 | 288,000 | 162,000 |
| | | | シヨダヤ前受金 | 48,000 | 128,000 |
| | | | さとおや前受金 | | 3,000 |
| | | | 基金 | 7,796,262 | 7,786,262 |
| 固定資産合計 | 0 | 0 | 固定負債合計 | 9,115,062 | 8,827,662 |
| | | | 負債合計 | 9,702,083 | 11,225,133 |
| | | | 正味財産 | 4,087,349 | 6,666,797 |
| 資産合計 | 13,789,432 | 17,891,930 | 負債・正味財産 | 13,789,432 | 17,891,930 |

5 期 連 続 貸 借 対 照 比 較 表

| | 平成19年3月31日 | 平成20年3月31日 | 平成21年3月31日 | 平成22年3月31日 | 平成23年3月31日 |
|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| | 18年度 | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 |
| | 第5期 | 第6期 | 第7期 | 第8期 | 第9期 |
| 現金 | 74,870 | 119,890 | 130,623 | 158,867 | 174,774 |
| 普通預金 | 14,226,401 | 11,407,439 | 9,462,748 | 6,172,199 | 10,101,509 |
| 郵便貯金 | 3,068,651 | 1,969,931 | 2,713,342 | 2,582,736 | 912,517 |
| 郵便振替 | 4,334,493 | 485,539 | 2,974,483 | 1,331,994 | 571,824 |
| 定期預金 | | | | | |
| 現預金計 | 21,704,415 | 13,982,799 | 15,281,196 | 10,245,796 | 11,760,624 |
| 立替金 | | 6,000 | 0 | 0 | |
| 短期貸付金 | | 50,000 | 0 | 0 | |
| 仮払金 | 224,969 | 0 | 0 | 0 | 51,130 |
| 未収金 | | 167,976 | 132,297 | 150,822 | 44,772 |
| ミャンマー未用途資金 | | 3,505,591 | 5,028,275 | 3,392,814 | 6,035,404 |
| 流動資産計 | 21,929,384 | 17,712,366 | 20,441,768 | 13,789,432 | 17,891,930 |
| 固定資産合計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 資産の部合計 | 21,929,384 | 17,712,366 | 20,441,768 | 13,789,432 | 17,891,930 |
| 未払金 | 552,000 | 206,097 | 943,394 | 118,000 | 1,962,294 |
| 未払費用 | | | 1,247,960 | | |
| 前受金 | 90,000 | 11,000 | 0 | | |
| 預り金 | 193,945 | 198,096 | 389,636 | 433,021 | 435,177 |
| 仮受金 | 5,110,000 | 100,000 | 0 | 36,000 | |
| 事業未実施助成金等 | | 2,897,521 | 4,856,733 | 0 | |
| 流動負債計 | 5,945,945 | 3,412,714 | 7,437,723 | 587,021 | 2,397,471 |
| 寄付預り金 | 1,050,000 | | | | |
| ボーゲウ前受金 | 492,000 | 240,000 | 324,000 | 336,000 | 300,000 |
| クーキャオ中前受金 | 1,416,000 | 924,000 | 768,000 | 646,800 | 448,400 |
| クーキャオ高前受金 | 1,080,000 | 684,000 | 522,000 | 288,000 | 162,000 |
| スリランカ前受金 | 208,000 | 128,000 | 82,000 | 48,000 | 128,000 |
| さとおや前受金 | | | | | 3,000 |
| 基金 | 7,323,658 | 7,330,346 | 7,796,262 | 7,796,262 | 7,786,262 |
| 固定負債計 | 11,569,658 | 9,306,346 | 9,492,262 | 9,115,062 | 8,827,662 |
| 負債合計 | 17,515,603 | 12,719,060 | 16,929,985 | 9,702,083 | 11,225,133 |
| 正味財産 | 4,413,781 | 4,993,306 | 3,511,783 | 4,087,349 | 6,666,797 |
| (当期損益) | 3,778,680 | 579,525 | -1,481,523 | 575,566 | 2,579,448 |
| 負債・正味財産合計 | 21,929,384 | 17,712,366 | 20,441,768 | 13,789,432 | 17,891,930 |

特定非営利活動法人地球市民の会
22年度収支決算書
 自平成22年4月1日 至平成23年3月31日

単位:円

| 【経常収入の部】 | 21年度決算 | 22年度予算 | 22年度決算 | 【経常支出の部】 | 21年度決算 | 22年度予算 | 22年度決算 |
|------------|------------|------------|------------|-------------|------------|------------|------------|
| 会費収入 | 4,860,800 | 5,500,000 | 3,802,500 | | | | |
| 国内関連収入 | 11,321,542 | 10,000,000 | 8,310,975 | 国内事業費 | 4,653,871 | 5,800,000 | 1,500,407 |
| 国内事業収入 | 1,100,919 | | 179,690 | 国内事業費 | 4,653,871 | | |
| 講師派遣事業 | 406,676 | 500,000 | 778,812 | 講師派遣事業支出 | | 1,000,000 | 55,184 |
| 補助金・助成金等収入 | 6,044,958 | 1,000,000 | 1,710,000 | 補助金・助成金等支出 | | 800,000 | 630,666 |
| 寄附金収入 | 326,420 | 2,000,000 | 611,199 | 委託金事業支出 | | 4,000,000 | 690,413 |
| 委託金収入 | 3,189,000 | 6,500,000 | 5,025,000 | その他の事業支出 | | | 124,144 |
| 雑収入 | 253,569 | | 6,274 | | | | |
| 奨学金関連収入 | 4,696,151 | 6,100,000 | 6,751,919 | 奨学金事業費 | 2,415,218 | 4,272,000 | 4,700,838 |
| 補助金・助成金等収入 | | | 400,000 | 奨学金交付 | 2,121,228 | 2,622,000 | 1,982,796 |
| 奨学会会費収入 | 4,669,800 | 4,300,000 | 3,872,900 | 奨学金事務手数 | | | |
| さとおやツアー | | 1,000,000 | 1,521,750 | 奨学金調査費 | 293,990 | 400,000 | 14,600 |
| チャリティショップ | | 500,000 | 276,965 | さとおやツアー | | 900,000 | 631,590 |
| 寄付金収入 | 26,351 | 300,000 | 680,304 | チャリティショップ | | 350,000 | 2,071,852 |
| ミャンマー関連収入 | 24,306,665 | 31,600,000 | 45,334,300 | ミャンマー事業費 | 18,321,997 | 23,315,000 | 34,271,866 |
| 自主事業収入 | 896,040 | 5,000,000 | 2,623,140 | 自主事業支出 | 1,297,999 | 3,100,000 | 2,764,729 |
| スタディツアー | 896,040 | 3,000,000 | 2,623,140 | スタディツアー | 1,297,999 | 1,600,000 | 2,724,040 |
| チャリモ事業 | | 2,000,000 | 0 | チャリモ | | 1,500,000 | 40,689 |
| 寄附金収入 | 3,074,545 | 5,600,000 | 3,892,324 | 寄付金支出 | 4,290,911 | 4,655,000 | 1,539,222 |
| タンボジ研修センター | | 2,000,000 | 130,166 | タンボジ研修センター | 1,718,325 | 1,800,000 | 125,000 |
| ナウンカ研修センター | | 1,000,000 | 0 | ナウンカ研修センター | 137,220 | 900,000 | |
| 循環型農業研修 | | 100,000 | 0 | 循環型農業研修 | | 50,000 | |
| 農業支援事業費 | 137,126 | 200,000 | 1,100,000 | 農業支援事業費 | | 180,000 | -112,346 |
| チャウタロン | 708,000 | 500,000 | 0 | チャウタロン | 540,000 | 450,000 | |
| 教育支援(学校建設) | 2,172,000 | 1,500,000 | 2,302,731 | 教育支援(学校建設) | 1,895,366 | 1,275,000 | 1,526,568 |
| その他の寄附金 | 57,419 | 300,000 | 0 | 助成金支出 | 15,954,359 | 15,560,000 | 32,610,505 |
| エコポイント | | | 359,427 | 森林復元事業費 | | | |
| 助成金収入 | 19,507,080 | 21,000,000 | 37,821,836 | 外務省NGO連携無償 | | 7,000,000 | 28,736,956 |
| 外務省NGO連携無償 | -133,620 | 10,000,000 | 31,522,808 | 緑の募金 | 1,827,285 | 560,000 | 589,500 |
| 緑の募金 | 799,000 | 800,000 | 1,484,000 | 三井物産環境基 | 5,160,083 | 0 | |
| 三井物産環境基 | 8,532,700 | | 0 | イオン環境基金 | 810,542 | 0 | |
| 地球環境基金 | | 5,200,000 | 4,890,000 | 郵政ボラ貯事業 | 8,170,491 | 0 | |
| 郵政ボラ貯収入 | 10,309,000 | | -74,972 | 地球環境基金 | | 4,500,000 | 1,826,199 |
| JICA委託事業 | 0 | 5,000,000 | 0 | JICA委託事業 | | 3,500,000 | |
| その他の事業費 | 829,000 | | 997,000 | その他の助成金 | | | 997,000 |
| | | | | その他の事業費 | -14,042 | | 460,850 |
| | | | | ミャンマー事業費繰入損 | -4,856,733 | | -2,642,590 |
| | | | | ミャンマー資金繰入損 | 1,635,461 | | |
| 韓国関連事業収入 | 0 | 1,000,000 | 1,057,289 | 韓国事業費 | 0 | 850,000 | 678,312 |
| 自主事業収入 | | | 342,682 | | | | |
| 助成金収入 | | 1,000,000 | 714,607 | | | | |
| | | | | 国内管理費 | 10,363,420 | 10,700,000 | 13,025,518 |
| | | | | 人件費 | 8,066,383 | 8,200,000 | 9,754,789 |
| | | | | その他管理費 | 2,297,037 | 2,500,000 | 3,270,729 |
| | | | | 奨学金事業管理費 | 2,243,449 | 2,500,000 | 2,274,605 |
| | | | | 人件費 | | | 1,960,810 |
| | | | | その他管理費 | | | 313,795 |
| | | | | ミャンマ管理費 | 6,611,637 | 6,600,000 | 6,225,989 |
| | | | | 人件費 | 4,762,128 | 5,000,000 | 5,226,919 |
| | | | | その他管理費 | 1,849,509 | 1,600,000 | 999,070 |
| 経常収入合計 | 45,185,158 | 54,200,000 | 65,256,983 | 経常支出合計 | 44,609,592 | 54,037,000 | 62,677,535 |
| | | | | 当期収支差額 | 575,566 | 163,000 | 2,579,448 |
| | | | | 繰越収支差額 | 3,511,783 | 4,087,349 | 4,087,349 |
| | | | | 次期繰越収支差額 | 4,087,349 | 4,087,349 | 6,666,797 |

5 期 連 続 収 支 比 較 表

| 事業 | 項目 | H18/4~H19/3 18(2006)年度 第5期 | H19/4~H20/3 19(2007)年度 第6期 | H20/4~H21/3 20(2008)年度 第7期 | H21/4~H22/3 21(2009)年度 第8期 | H22/4~H23/3 21(2010)年度 第9期 |
|--------------|--------------|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|
| 国内事業 | 会費収入 | 5,046,000 | 5,299,000 | 3,763,500 | 4,860,800 | 3,802,500 |
| | 奨学金関係事業 | 4,700,851 | 2,841,381 | 1,657,912 | | |
| | 国内事業 | 2,686,587 | 1,289,155 | 4,607,049 | 1,507,595 | 958,502 |
| | 海外派遣事業 | 1,086,000 | 210,000 | | | |
| | 補助・助成金収入 | 500,000 | 728,586 | 167,280 | 6,044,958 | 1,710,000 |
| | 委託金収入 | | | | 3,189,000 | 5,025,000 |
| | 寄付金収入 | 1,182,232 | 714,497 | 805,084 | 326,420 | 611,199 |
| | 雑収入 | 211,168 | 25,746 | 28,551 | 253,569 | 6,274 |
| | 【収入計】 | 15,412,838 | 11,108,365 | 11,029,376 | 16,182,342 | 12,113,475 |
| | 人件費 | 5,431,445 | 8,277,191 | 8,250,636 | 8,066,383 | 9,754,789 |
| | その他管理費 | 4,991,457 | 6,125,906 | 3,860,758 | 2,297,037 | 3,270,729 |
| | 奨学金関係事業 | 2,473,917 | 554,497 | | | |
| | 国内事業 | 2,009,397 | 476,766 | 2,753,840 | 4,653,871 | 1,500,407 |
| | 海外派遣事業 | 1,220,320 | | | | |
| 【支出計】 | 16,126,536 | 15,434,360 | 14,865,234 | 15,017,291 | 14,525,925 | |
| 【収支差額】 | -713,698 | -4,325,995 | -3,835,858 | 1,165,051 | -2,412,450 | |
| 奨学金事業 | 奨学金事業 | 5,181,000 | 5,451,000 | 4,619,500 | 4,669,800 | 5,671,615 |
| | 寄付金収入 | 0 | 2,240 | | 26,351 | 680,304 |
| | 補助・助成金収入 | | | | | 400,000 |
| | 【収入計】 | 5,181,000 | 5,453,240 | 4,619,500 | 4,696,151 | 6,751,919 |
| | 奨学金交付 | 3,137,790 | 3,507,416 | 2,100,565 | 2,121,228 | 1,982,796 |
| | 人件費 | 1,295,250 | 1,362,750 | 1,160,871 | 2,243,449 | 1,960,810 |
| | その他の管理費 | | | | | 313,795 |
| | 現地調整費・事務費 | 747,960 | 565,074 | 1,358,064 | 293,990 | 2,718,042 |
| 【支出計】 | 5,181,000 | 5,435,240 | 4,619,500 | 4,658,667 | 6,975,443 | |
| 【収支差額】 | 0 | 18,000 | 0 | 37,484 | -223,524 | |
| 海外事業 | 自主事業収入 | | | 1,517,500 | 896,040 | 2,623,140 |
| | JICA委託事業 | 12,408,768 | 4,163,801 | 0 | | |
| | 外務省他 | | | 12,986,228 | -133,620 | 31,522,808 |
| | 森林復元事業 | 5,077,000 | 4,500,000 | | 799,000 | |
| | 農業支援 | | | 309,000 | 137,126 | 1,100,000 |
| | 補助・助成金収入 | 0 | 23,601,002 | 11,419,100 | 19,670,700 | 7,296,028 |
| | 寄付金収入 | 5,618,135 | 7,846,821 | 7,549,263 | 2,937,419 | 2,792,324 |
| | 雑収入 | | 3,921 | | | |
| | ミャンマー事業資金戻入益 | | 3,505,591 | 5,028,275 | | |
| | ミャンマー事業費戻入益 | | 590,173 | 2,897,521 | | |
| | 【収入計】 | 23,103,903 | 44,211,309 | 41,706,887 | 24,306,665 | 45,334,300 |
| | 自主事業支出 | | | 966,541 | 1,297,999 | 2,764,729 |
| | JICA委託事業 | 3,540,000 | 3,554,048 | 0 | 0 | 0 |
| | その他事業費 | 6,629,831 | 2,344,687 | 7,556,581 | 2,435,366 | 1,457,850 |
| 農業支援 | 654,872 | 0 | 721,349 | | | |
| 森林復元事業費 | 2,578,822 | 2,593,728 | 489,670 | 1,827,285 | 2,415,699 | |
| 外務省委託事業 | | 16,452,488 | 8,773,609 | 0 | 28,736,956 | |
| 郵政ポラ貯事業 | | 2,293,650 | 318,851 | 8,170,491 | | |
| 寄付金事業費 | | 1,683,603 | 5,280,851 | 5,956,583 | 1,539,222 | |
| 海外教育推進 | | 1,294,863 | 1,516,795 | 1,855,545 | | |
| 人件費 | 5,208,000 | 5,008,410 | 3,653,104 | 4,762,128 | 5,226,919 | |
| その他の管理費 | | 566,400 | 1,859,406 | 1,849,509 | 999,070 | |
| ミャンマー事業費繰入損 | | 2,897,521 | 4,856,733 | -4,856,733 | -2,642,590 | |
| ミャンマー事業資金繰入損 | | 634,421 | 3,505,591 | 1,635,461 | | |
| 【支出計】 | 18,611,525 | 39,323,819 | 39,499,081 | 24,933,634 | 40,497,855 | |
| 【収支差額】 | 4,492,378 | 4,887,490 | 2,207,806 | -626,969 | 4,836,445 | |
| ② 海外事業 | 自主事業収入 | | | 423,547 | 0 | 342,682 |
| | 助成金収入 | | | 292,000 | 0 | 714,607 |
| | 【収入計】 | 0 | 0 | 715,547 | 0 | 1,057,289 |
| | 事業支出 | | | 569,018 | 0 | 678,312 |
| 【支出計】 | 0 | 0 | 569,018 | 0 | 678,312 | |
| 【収支差額】 | 0 | 0 | 146,529 | 0 | 378,977 | |
| ② 海外その他事業 | 外務省等委託事業 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 【収入計】 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 外務省等委託事業費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他事業費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 【支出計】 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 【収支差額】 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 經常収入合計 | | 43,697,741 | 60,772,914 | 58,071,310 | 45,185,158 | 65,256,983 |
| 經常支出合計 | | 39,919,061 | 60,193,419 | 59,552,833 | 44,609,592 | 62,677,535 |
| 經常収支差額 | | 3,778,680 | 579,495 | -1,481,523 | 575,566 | 2,579,448 |
| 基金取崩益(地球市民) | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 繰越収支差額 | | 635,101 | 4,413,781 | 4,993,306 | 3,511,783 | 4,087,349 |
| 次期繰越収支差額 | | 4,413,781 | 4,993,306 | 3,511,783 | 4,087,349 | 6,666,797 |

財産目録

2011年3月31日

【資産の部】

| | |
|---------------------|------------|
| 普通預金 | 10,101,509 |
| 佐賀銀行本店営業部 2675887 | 43,504 |
| 佐賀銀行本店営業部 1506171 | 8,246,805 |
| 佐賀銀行本店営業部 3007858 | 418,813 |
| 佐賀銀行本店営業部 3018910 | 29,750 |
| 佐賀信用金庫本店営業部 1059408 | 1,300,991 |
| 佐賀共栄銀行 248629 | 61,646 |
| 郵便貯金 | 912,517 |
| 郵便振替 | 571,824 |
| 未収金 | 44,772 |
| 印刷機使用料負担金 夢の学校を作る会 | 6,606 |
| 印刷機使用負担金 古賀英語道場 | 6,530 |
| 印刷機使用負担金 古賀空手道場 | 29,356 |
| 印刷機使用負担金 佐賀ユネスコ協会 | 2,280 |
| ミャンマー事業未使用資金 | 6,035,404 |
| 本部送金分 ドル未使用分 | 6,164,098 |
| 本部送金分 チャット未使用分 | -128,694 |

【負債の部】

| | |
|--|-----------|
| 未払金 | 1,962,294 |
| 柴田京子給料 3月分 | 160,000 |
| 余剰金返金 セブンイレブン記念財団2010公募助成金 | 76,224 |
| 余剰金返金 村プロ 佐賀市総合政策課 | 1,525,000 |
| 国際ボランティア保険 スリランカツアー-3/23~29 戸田 | 4,320 |
| 国際ボランティア保険 ミャンマーツアー-3/10~18 藤瀬 | 4,750 |
| 携帯電話プライベートカード代 タイ連絡用 翻訳家Mいさん | 2,000 |
| 協働おもしろ大百科 脚本修正料@5000円×4本 シアターEDU青柳達也 | 20,000 |
| 協働おもしろ大百科 寸劇上演謝金@10000円×3回 シアターEDU青柳達也 | 30,000 |
| 協働おもしろ大百科 寸劇上演謝金@20000円×3回 劇団【Zシアター】辻圭子 | 60,000 |
| 協働おもしろ大百科 寸劇上演謝金@10000円×3回 賑わい商はっぴいかむかむ稲葉ゆう子 | 30,000 |
| 協働おもしろ大百科 にわか指導料 賑わい商はっぴいかむかむ稲葉ゆう子 | 10,000 |
| 協働おもしろ大百科 撮影記録代 喜多浩人 | 10,000 |
| 協働おもしろ大百科 チラシデザイン料(再修正費込) 貝通丸直子 | 30,000 |
| 預り金 | 433,021 |
| 源泉所得税 | 41,690 |
| 社会保険等 | 105,216 |
| 理事慶弔費 | 275,815 |
| 市県民税 | 10,300 |
| 仮受金 | 36,000 |
| ボランティアわだ | 36,000 |
| ボーゲウ前受金 | 300,000 |
| 2011年度分 | 216,000 |
| 2012年度分 | 84,000 |
| クーキャオ 中学前受金 | 448,400 |
| 2011年度分 | 316,400 |
| 2012年度分 | 132,000 |
| クーキャオ 高校前受金 | 162,000 |
| 2011年度分 | 108,000 |
| 2012年度分 | 54,000 |
| スリランカシショダヤ奨学金前受金 | 128,000 |
| 2011年度分 | 96,000 |
| 2012年度分 | 32,000 |
| 基金 | 7,786,262 |
| 地球市民基金 | 873,342 |
| 地球市民特別基金 | 4,994,547 |
| 地球市民奨学金基金 | 1,358,064 |
| 森太郎プロジェクト国内基金 | 36,410 |
| ミャンマー教育基金 | 195,828 |
| ミャンマー竜巻緊急支援 | 328,065 |

特定非営利活動法人地球市民の会
ミャンマー(チャット:タウンジー)貸借対照表
 平成22年3月31日現在

単位:チャット

| 科目名 | 前期末残高 | 当期末残高 | 科目名 | 前期末残高 | 当期末残高 |
|--------|------------|------------|---------|------------|------------|
| 現金 | 1,222,616 | 2,927,181 | 預り金 | 1,409,350 | 1,357,650 |
| 普通預金 | 11,519,543 | 8,526,543 | 小規模銀行基金 | 360,000 | 360,000 |
| 現金預金合計 | 12,742,159 | 11,453,724 | 流動負債合計 | 1,769,350 | 1,717,650 |
| 短期貸付金 | 6,853 | -36,333 | 固定負債合計 | 0 | 0 |
| 仮払金 | 1,185,000 | 1,080,000 | 負債合計 | 1,769,350 | 1,717,650 |
| 流動資産合計 | 13,934,012 | 12,497,391 | 正味財産 | 34,920,162 | 45,805,241 |
| 保証金 | 430,500 | 430,500 | | | |
| 長期貸付金 | 22,325,000 | 34,595,000 | | | |
| 固定資産合計 | 22,755,500 | 35,025,500 | | | |
| 資産合計 | 36,689,512 | 47,522,891 | 負債・正味財産 | 36,689,512 | 47,522,891 |

特定非営利活動法人地球市民の会
ミャンマー(チャット)収支計算書
 自平成22年4月1日 至平成23年3月31日

単位:チャット

| 【経常収入の部】 | | 【経常支出の部】 | |
|----------|-------------|----------|------------|
| 科目名 | 残高 | 科目名 | 残高 |
| 本部勘定収入 | 106,981,715 | 事業費 | 77,136,007 |
| タンボジ | 13,647,500 | タンボジ | 12,395,629 |
| ナウンカ | 5,010,500 | ナウンカ | 6,210,248 |
| NGO連携無償 | 598,000 | NGO連携無償 | 591,790 |
| 養豚銀行 | 5,840,000 | ナウンシン | 2,291,500 |
| 水牛銀行 | 3,783,000 | 循環型農業研修 | 41,000 |
| ナウンシン | 2,236,000 | ボランティア貯 | 863,250 |
| ボランティア貯 | 3,860,000 | 緑の募金 | 10,820,925 |
| その他の事業 | 24,560,780 | 三井物産環境基 | 2,409,475 |
| 緑の募金 | 11,154,000 | その他の事業 | 25,258,000 |
| 三井物産環境基 | 3,900,000 | イオン環境基金 | 716,700 |
| イオン環境基金 | 1,950,000 | 地球環境基金 | 12,815,090 |
| 管理費 | 14,843,435 | センター自立 | 2,719,900 |
| 地球環境基金 | 12,817,000 | 本庄小学校 | 2,500 |
| センター自立 | 2,781,500 | 管理費 | 22,653,515 |
| 物販収入 | 143,500 | 給料手当 | 10,505,000 |
| 参加費収入 | 310,000 | その他の管理費 | 12,148,515 |
| 事業収入 | 2,753,600 | | |
| 寄付金収入 | 283,150 | | |
| 雑収入 | 202,636 | | |
| 経常収入合計 | 110,674,601 | 経常支出合計 | 99,789,522 |
| | | 当期収支差額 | 10,885,079 |
| | | 繰越収支差額 | 29,632,808 |
| | | 次期繰越収支差額 | 40,517,887 |

特定非営利活動法人地球市民の会
ミャンマー(ドル)貸借対照表
 平成23年3月31日現在

単位:USドル

| 科目名 | 前期末残高 | 当期末残高 | 科目名 | 前期末残高 | 当期末残高 |
|--------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 現金 | 137,174 | 208,933 | 未払費用 | 1,249 | 0 |
| 現金預金合計 | 137,174 | 208,933 | 前受金 | 16,134 | 0 |
| | | | 仮受金 | 119,791 | 208,933 |
| 流動資産合計 | 137,174 | 208,933 | 流動負債合計 | 137,174 | 208,933 |
| 固定資産合計 | 0 | 0 | 固定負債合計 | 0 | 0 |
| | | | 負債合計 | 137,174 | 208,933 |
| | | | 正味財産 | 0 | 0 |
| 資産合計 | 137,174 | 208,933 | 負債・正味財産 | 137,174 | 208,933 |

特定非営利活動法人地球市民の会
ミャンマー(ドル)収支計算書
 自平成22年4月1日 至平成23年3月31日

単位:USドル

| 【経常収入の部】 | | 【経常支出の部】 | |
|----------|---------|------------|---------|
| 科目名 | 残高 | 科目名 | 残高 |
| 本部勘定収入 | 231,972 | 事業費 | 201,462 |
| NGO連携無償 | 199,647 | NGO連携無償 | 199,647 |
| ボランティア貯 | 55 | ボランティア貯 | 55 |
| 管理費 | 30,510 | センター自立 | 1,760 |
| センター自立 | 1,760 | オープンプロジェクト | 1,760 |
| | | 管理費 | 30,510 |
| | | 給料手当 | 18,679 |
| | | 福利厚生費 | 1,819 |
| | | 会議費 | 188 |
| | | 旅費交通費 | 4,681 |
| | | 通信運搬費 | 1,628 |
| | | 賃借料 | 3,450 |
| | | 雑費 | 65 |
| 経常収入合計 | 231,972 | 経常支出合計 | 231,972 |
| | | 経常収支差額 | 0 |
| | | 繰越収支差額 | 0 |
| | | 次期繰越収支差額 | 0 |

ミャンマー事務所USドル

財産目録

2011年3月31日現在

単位:USドル

| 科目 | 金額 |
|---------------|---------|
| 【資産の部】 | |
| 流動資産 | |
| 現金 預金 | 208,933 |
| 現金 現金手許有高 | 208,933 |
| 流動資産合計 | 208,933 |
| 資産合計 | 208,933 |
| 【負債の部】 | |
| 流動負債 | |
| 仮受金 | 208,933 |
| タンボジ | 21,333 |
| ナウンカ | 447 |
| NGO連携無償 | 137,013 |
| ニンニク銀行 | 56 |
| ナウンシン | 4,163 |
| 御厨基金 | 117 |
| 坂井邦夫基金 | 82 |
| その他の事業 | 4,208 |
| 緑の募金 | 287 |
| 管理費 | 27,822 |
| 地球環境基金 | 3,578 |
| センター自立事 | 9,827 |
| 流動負債合計 | 208,933 |
| 負債合計 | 208,933 |
| 正味財産 | 0 |
| 負債・正味財産 | 208,933 |

ミャンマー事務所ミャンマーチャット

財産目録

2010年3月31日現在

単位:チャット

| 科目 | 金額 |
|---------------|------------|
| 【資産の部】 | |
| 流動資産 | |
| 現金 預金 | 11,453,724 |
| 現金 現金手許有高 | 2,927,181 |
| 普通預金 | 8,526,543 |
| 一般 | 31,551 |
| 特別 | 8,494,992 |
| 短期貸付金 | -36,333 |
| ナウンシン農業支援貸付 | -36,333 |
| 仮払金 | 1,080,000 |
| タンボジ研修センター | 500,000 |
| ナウンカ研修センター | 500,000 |
| その他の事業 | 80,000 |
| 流動資産合計 | 12,497,391 |
| 固定資産 | |
| 基本財産 | 0 |
| その他の固定資産 | |
| 保証金 | 430,500 |
| 長期貸付金 | 34,595,000 |
| 養豚銀行 | 8,475,000 |
| 水牛銀行 | 18,300,000 |
| ニンニク銀行 | 5,100,000 |
| ナウンシン入植貸付金 | 620,000 |
| その他の貸付金 | 2,100,000 |
| 固定資産合計 | 35,025,500 |
| 資産合計 | 47,522,891 |
| 【負債の部】 | |
| 流動負債 | |
| 預り金 | 1,357,650 |
| 小規模銀行基金 | 360,000 |
| 流動負債合計 | 1,717,650 |
| 固定負債 | |
| 負債合計 | 1,717,650 |
| 正味財産 | 45,805,241 |
| 負債・正味財産 | 47,522,891 |

決算に関する会計報告書

平成23年5月20日、特定非営利活動法人地球市民の会事務局において、定款第47条の規定により監査の結果、平成22年度（自平成22年4月1日～至平成23年3月31日）の会計ならびに決算報告書は適正であることを認めます。

平成23年5月20日

特定非営利活動法人地球市民の会

監事 田中 進  (印)

古賀 和夫  (印)

事業評価体制の強化と PDCA サイクルの活用

(平成 23 年 5 月 28 日)

特別支援事業

東日本大震災復興支援事業

重点事業

- 1、 3 カ年計画の中間評価
- 2、 資金調達委員会の機能強化
- 3、 広報機能の充実・強化
- 4、 ポストミャンマー事業の検討

事業別重点活動

ミャンマー事業重点事項

- ミャンマー政府との同意書 (MOA) の延長と JICA 草の根パートナー事業の協約書 (Minutes) の締結

タイ事業重点事項

- タイ教育基金の持続発展事業への展開

スリランカ事業重点事項

- スリランカ事業の計画再構築の検討

中山間地元気再生事業重点

- パイロット事業の立ち上げと継続的財源の確保

中期目標

- 1、 会員の「感動満足度」を高めよう
- 2、 会員以外の地域の人々に感動体験・感動情報を提供しよう
- 3、 経営の「カイゼン」に挑戦しよう

平成 23(2011)年度の目標と課題、今後の方向性の提案

◆ 東日本大震災復興支援事業に注力します

古賀前会長がご存命ならば、何もしないはずはなかったと思います。残された私たちで何ができるか考え、現在取り組んでいるのが「佐賀から元気を送ろうキャンペーン」です。たくさんの組織と協働しながら、広がる活動を目指しています。いよいよ、被災地への直接的な事業展開も視野に入れ、佐賀県との協働事業も実施していきます。復興の支援の過程で、私たち自身も感動を深めて生きたいと考えています。

◆ 収支規模 1 億円に挑戦しながら、財源確保の安定化を目指します

本年度も昨年度に引き続き、ミャンマーでは大型案件が進んでいます。今回は農業用灌漑施設の補修工事です。これとともに、地球市民の会のミャンマー事業の本流事業である循環型農業によるコミュニティビジネスの採択済み案件を事業化させていきます。また、国内事業の充実で地球市民の会始まって依頼の収入規模を 1 億円突破に挑戦します。まだ、確約された財源は有りませんが、鋭意努力をいたします。しかし、1 億円を突破するのが目的ではなく、内容の充実とともに突破していたという形を作っていかなければなりませんし、継続的にこの規模を維持するための基盤づくりも重要です。様々な知恵を寄せ合う「資金調達委員会」を理事会内部で昨年設立し、今年一年、じっくりと基礎作りをしていきます。

◆ 実施事業の評価がしっかり出来る組織体質へ改善します。

モニタリング及び評価が出来る体制を整えていきます。3 カ年計画を作成し、目標に向けて日々、それぞれの事業を実施していますが、当初の考えや見込みとの誤差はないのか、全体的な理念との齟齬はないのか、効果的に資金や労働力は投入されているのか、などをチェックする基準や体制を考えていきます。次年度が 3 カ年計画の最終年度ですので、今年度内に固めます。

◆ ソーシャルメディアの活用で広報機能を強化します。

WEBサイトの充実喫緊の改善事項ですが、なかなか進んでいません。ブログやフェイスブック、ツイッターというソーシャルメディアの活用も進んでいません。広報に人件費を投下できない状況に、遅々として進まない現状があります。外部の人材活用も念頭に研究を進めます。本年度内にホームページをリニューアルさせます。

◆ 各事業の成すべき優先事業を達成します。

各事業のすべき業務は多岐にわたりますが、優先順位をしっかりと定め、その上位から確実に達成していく仕事の進め方を徹底します。外部から成果が見られる表現にも心がけ、各事業ごとに広報システムのコンテンツをしっかりと作り上げられるようにも進めていきます。

◆ 行政・企業等との協働事業に一層取り組みます。

地球市民の会の持つノウハウを地域に還元するために、JICA や地方自治体との委託事業や企業の CSR 活動などの異分野との協働や、活動事業分野の異なる NPO との協働などを今後も進めていきます。

◆ 会員のみなさんの満足度を追及します。

昨年度の最重点目標だったにもかかわらず、会費収入、寄付金収入の減少があったことは、目標達成に向けて十分に効果的に活動していたとはいえません。単なる努力不足なのか、優先順位を誤ったか、その両方かが原因です。本年度も昨年度の目標を中期目標と改め、引き続き念頭に置き活動を進めます。会員さんに愛される地球市民の会、会員さんに感動を提供できる地球市民の会になるべく、意識しながら活動を続けていきます。

平成23年度事業計画書

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

特定非営利活動法人 地球市民の会

| 事業内容 | 実施時期 | 実施内容 |
|-----------------|------|---|
| 国内事業 | | |
| 東日本大震災支援事業 | 通期 | ボランティア派遣事業 |
| | 通期 | 被災の子どもと佐賀の子どもの夢をつなげる事業 |
| | 通期 | 福島の子どもと親を夏休み佐賀に招聘する事業 |
| | 通期 | 佐賀から元気を送ろうキャンペーン事務局 |
| | 通期 | 本年度限定のチャリティショッピングモール事業 |
| 中山間地元気再生事業 | 通期 | 過疎中山間地域の村落開発事業(佐賀市委託事業) |
| 行政協働事業 | 通期 | 新しい公共事業(佐賀県)、中間支援センターソフト事業(佐賀市) |
| 講師派遣事業 | 通期 | 学校・各種団体への講師派遣(企業との協働事業)、キャリア教育講師派遣(厚労省) |
| 奨学金関連事業 | | |
| 奨学会会費 | 通期 | タイ・スリランカの中学・高校生への奨学金事業 |
| チャリティショップ | 通期 | タイ貧困農村支援を目的としたセカンドハンドショップ運営 |
| スタディツアー | 通期 | 奨学金受給者への視察 |
| 青年会議所協働事業 | 夏ごろ | 九州地区の青年会議所のグローバルトレーニング事業の協力 |
| ミャンマー事業 | | |
| 農業支援事業 | 7月～ | 農業用灌漑事業タンテ堰整備事業(外務省NGO連携無償) |
| | 通期 | 循環型農業普及のための研修実施 |
| | 通期 | 小規模農業支援事業(JAさがグループとの協働事業) |
| 人材育成・教育支援事業 | 通期 | タンボジ研修センター運営。貧困農村部の高校生寄宿事業、循環型農業普及事業の拠点運営 |
| | 通期 | 循環型農業普及事業の拠点であるナウンカ研修センター運営 |
| | 随時 | 学校建設事業 |
| 村落開発事業 | 10月～ | 貧困農村部の協同組合設立によるコミュニティビジネスモデルの構築(JICA草の根パートナー) |
| | 9月～ | ハムシー・ナウンシンのパイプ埋設と水タンク建設による生活用水供給 |
| 環境復元事業 | 通期 | インレー湖への周辺山間地からの表土流出防止のための、生活と密着した森林復元環境改善事業 |
| | ～8月 | カンタン村水源地涵養のための森林復元事業 |
| スタディツアー | 年3回 | ミャンマー事業への視察事業 |
| 韓国関連事業収入 | | |
| 新カチガラス事業 | 8月 | 韓国人大学生と日本人大学生の交流事業 |

平成 23 年 度 収 支 予 算 書

自 平成23年4月1日 至平成24年3月31日

単位: 円

| 【経常収入の部】 | 22年度決算 | 23年度予算 | 【経常支出の部】 | 22年度決算 | 23年度予算 |
|------------|------------|-------------|-------------|------------|-------------|
| 会 費 収 入 | 3,802,500 | 4,000,000 | | | |
| 国内関連収入 | 8,310,975 | 27,000,000 | 国内事業費 | 1,500,407 | 15,400,000 |
| 国内事業収入 | 179,690 | | 国内事業費 | | |
| 講師派遣事業 | 778,812 | 4,000,000 | 講師派遣事業支出 | 55,184 | 1,000,000 |
| 補助金・助成金等収入 | 1,710,000 | 15,000,000 | 補助金・助成金等支出 | 630,666 | 12,000,000 |
| 委託金収入 | 5,025,000 | 6,500,000 | 委託金事業支出 | 690,413 | 2,000,000 |
| 寄附金収入 | 611,199 | 1,000,000 | その他の事業支出 | 124,144 | |
| チャリモ事業 | 0 | 500,000 | チャリモ事業 | 40,689 | 400,000 |
| 雑収入 | 6,274 | 0 | | | |
| 奨学金関連収入 | 6,751,919 | 7,694,000 | 奨学金事業費 | 4,700,838 | 6,694,000 |
| 補助金・助成金等収入 | 400,000 | 400,000 | 奨学金交付 | 1,982,796 | 2,094,000 |
| 奨学金会費収入 | 3,872,900 | 3,574,000 | 奨学金調査費 | 14,600 | 900,000 |
| ツアー収入 | 1,521,750 | 2,000,000 | スタディツアー | 631,590 | 1,700,000 |
| チャリティショップ | 276,965 | 500,000 | チャリティショップ | 2,071,852 | 1,500,000 |
| JCプログラム収入 | | 660,000 | JCプログラム支出 | | 500,000 |
| 寄付金収入 | 680,304 | 560,000 | | | |
| ミャンマー関連収入 | 45,334,300 | 60,950,000 | ミャンマー事業費 | 34,271,866 | 51,700,000 |
| 自主事業収入 | 2,623,140 | 1,000,000 | 自主事業支出 | 2,764,729 | 900,000 |
| スタディツアー | 2,623,140 | 1,000,000 | スタディツアー | 2,724,040 | 900,000 |
| 寄附金収入 | 3,892,324 | 2,800,000 | 寄付金支出 | 1,539,222 | 2,500,000 |
| タンボジ研修センター | 130,166 | 300,000 | タンボジ研修センター | 125,000 | 300,000 |
| ナウンカ研修センター | 0 | 100,000 | ナウンカ研修センター | | 500,000 |
| 循環型農業研修 | 0 | 50,000 | 循環型農業研修 | | 50,000 |
| 農業支援事業費 | 1,100,000 | 1,200,000 | 農業支援事業費 | -112,346 | 900,000 |
| 教育支援(学校建設) | 2,302,731 | 1,000,000 | 教育支援(学校建設) | 1,526,568 | 750,000 |
| エコポイント | 359,427 | 150,000 | | | |
| 助成金収入 | 37,821,836 | 57,150,000 | 助成金支出 | 32,610,505 | 45,300,000 |
| 外務省NGO連携無償 | 31,522,808 | 45,000,000 | 外務省NGO連携無償 | 28,736,956 | 34,000,000 |
| 緑の募金 | 1,484,000 | 800,000 | 緑の募金 | 589,500 | 1,600,000 |
| 地球環境基金 | | 4,350,000 | 地球環境基金 | 1,826,199 | 4,400,000 |
| JICA委託事業 | 0 | 5,000,000 | JICA委託事業 | | 3,500,000 |
| 三井物産環境基 | 4,890,000 | 0 | | | |
| その他の助成金 | -74,972 | 2,000,000 | その他の助成金 | 997,000 | 1,800,000 |
| その他の事業費 | 997,000 | 0 | その他の事業費 | 460,850 | 0 |
| | | | ミャンマー事業費繰入損 | -2,642,590 | 3,000,000 |
| 韓国関連事業収入 | 1,057,289 | 2,650,000 | 韓国事業費 | 678,312 | 2,650,000 |
| 自主事業収入 | 342,682 | 350,000 | 新カチガラス計画 | 678,312 | 2,650,000 |
| 助成金収入 | 714,607 | 2,300,000 | | | |
| | | | 国内管理費 | 13,025,518 | 16,000,000 |
| | | | 人件費 | 9,754,789 | 12,500,000 |
| | | | その他管理費 | 3,270,729 | 3,500,000 |
| | | | 奨学金事業管理費 | 2,274,605 | 2,450,000 |
| | | | 人件費 | 1,960,810 | 2,100,000 |
| | | | その他管理費 | 313,795 | 350,000 |
| | | | ミャンマ管理費 | 6,225,989 | 8,000,000 |
| | | | 人件費 | 5,226,919 | 6,500,000 |
| | | | その他管理費 | 999,070 | 1,500,000 |
| 経常収入合計 | 65,256,983 | 102,294,000 | 経常支出合計 | 62,677,535 | 102,894,000 |
| | | | 当期収支差額 | 2,579,448 | -600,000 |
| | | | 繰越収支差額 | 4,087,349 | 6,666,797 |
| | | | 次期繰越収支差額 | 6,666,797 | 6,066,797 |

特定非営利活動法人 地球市民の会 3カ年計画(中期経営計画)

2010年4月策定

| | |
|-------------|--|
| 地球市民の会の目的 | 地球市民運動を通じて、世界の平和と親善に貢献し、あわせて地域社会の向上発展に寄与すること (定款第2条) |
| 地球市民運動とは | 人・社会・自然の相互依存を十分に認識し、全てのいのちを慈しみ、強く・優しく・豊かに・美しく育てる |
| 地球市民の会とは | 地球市民運動(足もとを見直すことで平和で幸せな社会を作ろうとする運動)を通して地球維新(設立趣意書より)を実現する団体 |
| 地球市民の会の活動指針 | <p>① 地球市民運動を通し、経済的豊かさよりも心の豊かさを伝えることで、平和で幸福な社会へ変革させていく。</p> <p>② 感動と気付き(目覚め)にて全人的成長(設立趣意書)をし、社会を変える人をつくる(育てる)</p> <p>③ 社会を変革する組織として存在し続ける責務を持ち、安定的自立経営を目指す。</p> |

| プロジェクト名 | 3カ年の結果目標 | 3カ年の成果 |
|-------------------|---|--|
| ミャンマー事業 | 循環型農業がターゲットエリアで30%実施する お茶プロジェクト開始 インレー湖循環化事業の日本からの支援終了 タンボジセンターのハンドオーバーが実現する ナウンカセンターのハンドオーバーが実現する ナウンシンデモファームの自立の見込みが立つ 外務省N連事業提案 学校5校建設・ナーリー村支援開始 スタディーツアー実施 JA事業新規給水P実施 | 持続型自立発展事業が軌道に乗り、協力事業から交流事業へと発展する。 |
| タイ事業 | ・自立発展型教育支援事業が新規プロジェクト立案ができるようになる ・奨学金の新規受給者が2015年にゼロとなる ・教育基金に対する理解が深まる ・自前のチャリティショップが運営できる準備が整う ・ボランティアが恒常的に参加できる事業が続いている。 | タイ国内の経済的格差に対する循環型共生社会による自立発展型事業での自立の道筋を日本国内での活動とリンクして広く伝える。 |
| スリランカ事業 | フェーズ1に成果の予兆が見え、フェーズ2の立案準備が始まる | 貧困地域が自然エネルギーによる発電事業を通して循環型共生社会へと変化していく。 |
| ラオス事業 | ラオス循環型共生社会創造事業が始まった。 | 循環型共生社会の創造による開発のモデルとなり、国内の農事業や地球共感教育事業と連動し国内で学び時月を得ることができる |
| ブータン事業 | ブータン事業が申請されている | |
| 村プロジェクト | 当事業で雇用が確保できるようになっている。 韓国との事業が成り立つようになる | 循環型共生社会の創造の国内モデルが地域の人々の間で出来上がりつつある。 TPA事業に直接的・間接的に関わった人に地球市民としての意識をもつ人が増加する |
| 自分自給率向上事業 | 自分自給率が一般名詞化し運動となる兆しがある。 | 都市型の循環型共生社会のモデルの提示ができる。 |
| 農事業 | ・循環型農業研修センター、エコツーリズム事業が継続実施されている | 農の視点から循環型共生社会を伝え、広めていくことができるようになる。 |
| 地球共感教育事業 | セミナー、シンポジウム、講師派遣、プログラム受注で一人雇用できる状態になる | 地球共感教育を体験した人が増える |
| 企業・行政 協働事業 | 委託、共同事業等で一人雇用できる状態になる | 当会の内的資源を用いて循環型共生社会と行政課題や企業のCSRを一致させた事業が成立する。 |
| 地域開発・地域づくりセンター事業 | センターで事業が実施できる状態となっている。 | 道州制を基本とした地域づくりのなかで九州の社会変革の核となり、国内で重要な影響を及ぼす組織となる。 |
| 資金調達 ファンドレイジング | 国内スタッフ8名、海外スタッフ6名の体制が維持できるようになる。 | 2013年の予算を1億円とし、収入比率を会費・寄付:助成委託:自主事業=3:4:3、国外国内比率を60:40にする。 |
| ミャンマー・チャリモ事業 | 25社で1000万円の寄付が見込める事業へ拡大できる状態となっている | チャリティとしてや、目的・意義を意識しながら継続的な購入をする消費者が増える |
| 会員サービス事業 | 毎月、何等かの会員の集まれる場所を提供する | 当会の会員であることに喜びを感じてもらえるようになる。 |
| 広報出版事業 | 毎月、何等かの会員に対する情報のリリースが実施される。 | 当会の「今」の内容がいつでも誰でも解るようになっている。 |

特定非営利活動法人地球市民の会 平成23年度役員

50音順

| 役職 | 氏名 | 勤務先／所属 | 役職名 |
|--------|------------|----------------------|----------|
| 永久名誉会長 | 古賀 武夫 | | |
| 名誉会長 | 古川 康 | 佐賀県 | 知事 |
| 名誉副会長 | 秀島 敏行 | 佐賀市 | 市長 |
| 顧問 | 伊藤 榮彦 | 京都科学カフェ | 代表 |
| 顧問 | 井戸 敏三 | 兵庫県 | 知事 |
| 顧問 | 稲田 繁生 | 伊万里学園・敬徳高校 | 理事長 |
| 顧問 | 今村 雅弘 | 衆議院 | 議員 |
| 顧問 | 井本 勇 | 佐賀清和学園 | 理事長 |
| 顧問 | 江島 秀臣 | 佐賀県国際交流課 | 課長 |
| 顧問 | 大草 秀幸 | 県立アバンセ | 館長 |
| 顧問 | 大串 博志 | 衆議院 | 議員 |
| 顧問 | 川崎 稔 | 参議院 | 議員 |
| 顧問 | 小原 健史 | (株)和多屋別荘 | 代表取締役 |
| 顧問 | 小原 嘉文 | 嬉野温泉観光(株) | 代表取締役社長 |
| 顧問 | 小山 高生 | 脚本家/大阪芸術大学 | 教授 |
| 顧問 | 坂井 学 | | |
| 顧問 | 薩摩 和男 | (株)美々卯 | 社長 |
| 顧問 | 三遊亭歌之介 | 落語家 | |
| 顧問 | 上甲 晃 | 志ネットワーク | 代表 |
| 顧問 | 喜多 浩人 | 佐賀市国際交流室 | 国際交流室長 |
| 顧問 | 豊田 泰光 | 野球評論家 | |
| 顧問 | 中尾 清一郎 | (株)佐賀新聞社 | 代表取締役社長 |
| 顧問 | 佛淵 孝夫 | 国立大学法人佐賀大学 | 学長 |
| 顧問 | 原口 一博 | 衆議院 | 議員 |
| 顧問 | 平湯 慎介 | 平湯ユホレーション | 代表取締役社長 |
| 顧問 | 福岡 資麿 | 参議院 | 議員 |
| 顧問 | 古川 弘典 | 三重県・御浜町 | 町長 |
| 顧問 | 保利 耕輔 | 衆議院 | 議員 |
| 顧問 | マリ クリスティーナ | 有限会社 エムキューブインターナショナル | |
| 評議員 | 有岡 大介 | (株)サガテレビ | 主任 |
| 評議員 | 弥富 雅信 | 鶴田病院 | 理学療法士 |
| 評議員 | 橋村 エリザベス | | |
| 評議員 | 大島 隆 | 和食処おおしま | 代表取締役 |
| 評議員 | 副島 正幸 | 潮音寺 | 住職 |
| 評議員 | 田島 広一 | 田島興産株式会社 | 代表取締役 |
| 評議員 | 富吉 賢太郎 | 佐賀新聞社 | 編集局長 |
| 評議員 | 原 康彦 | 佐賀県議会 | 議員 |
| 評議員 | 平野 喜幸 | 蓮華院誕生寺 | れんげ農苑農苑長 |
| 評議員 | 深川 千幹 | 神崎市立西郷小学校 | 教頭 |
| 評議員 | 前田 英彦 | 長崎県松浦市役所 税務課 | |
| 評議員 | 丸田 祐子 | 七賢人の里 おへそ保育園 | 保育士主任 |
| 評議員 | 満岡 聰 | 満岡内科消化器科医院 | 院長 |
| 評議員 | 峰 悦男 | 峰公認会計士事務所 | 代表 |
| 評議員 | 宮地 大治 | (株)佐賀電算センター | 代表取締役社長 |
| 評議員 | 百生 詩緒子 | | |
| 評議員 | 藤 雅仁 | | |

特定非営利活動法人地球市民の会 平成23年度役員

| | | | |
|-----|-------|--------------------|--------|
| 会長 | 佐藤 昭二 | (株)地水社 | 代表取締役 |
| 副会長 | 多良 淳二 | (財)佐賀銀行文化財団 | 事務局長 |
| 副会長 | 山口 久臣 | (有)野外教育研究所アイ・オー・イー | 取締役 所長 |
| 副会長 | 草場 一壽 | 今心工房 | 陶彩画家 |

理事 50音順

| | | | |
|--------|-------|----------------------|----------|
| 理事長 | 山下 雄司 | (株)サグブリテイング | 専務取締役 |
| 専務理事 | 大野 博之 | 特定非営利活動法人地球市民の会 | 事務局長【有給】 |
| 理事 | 青柳 達也 | 古賀英語道場 | 代表 |
| 理事 | 稲富 正人 | 佐賀県くらし環境本部男女参画・県民協働課 | 課長 |
| 理事 | 植田 寛 | | |
| 理事 | 古賀 大之 | 和道流古賀空手道場 | 代表 |
| 理事 | 小松 敏正 | 小松商店 金属部 | 専務 |
| 理事(兼任) | 多良 淳二 | (財)佐賀銀行文化財団 | 事務局長 |
| 理事 | 土井 敏弘 | みどりや茶舗 | 代表 |
| 理事 | 成尾 雅貴 | 熊本県庁 くまもとブランド推進課 | |
| 理事 | 西村 一守 | | |
| 理事 | 西村 尚子 | 西村歯科医院 | |
| 理事 | 増田 誠司 | (株)増屋 | 代表取締役 |
| 理事 | 八田 康博 | (有)八田工作所 | 代表取締役 |
| 理事(兼任) | 山口 久臣 | (有)野外教育研究所アイ・オー・イー | 取締役 所長 |

| | | | |
|----|-------|----------------|---------|
| 監事 | 田中 進 | (株)佐賀電算センター | 代表取締役会長 |
| 監事 | 古賀 和夫 | 有限会社 ニューポーン新古賀 | 代表取締役 |

会長・副会長の役割 地球市民の会の理念や活動について対外的に伝える代表です。

理事の役割 理事は会の経営に携わり、意思決定とその責任を有します。
理事長は、経営権を持ち、活動に対する指揮権と責任を有します。
副理事長は理事長を補佐します。
専務理事は理事会の決定実施するために事務局を統括します。

監査の役割 活動内容が理念や社会的規範から離れていないかなどの問題がないかを、また、財務会計状況に問題がないかを監査します。

会員総会の役割 会の最高意思決定機関です。理念や目的を達成するための各種事業に対して是非の判断します。
総会及び会長、副会長に対して専門的な立場から指導又は助言等を行いません。
理事会の経営や事業実施に対して専門的な立場から指導又は助言等を行います。

地球市民の会 27年の歴史

- 1973年 「佐賀フランス研究会」設立(地球市民の会の前身)
- 1980年 「古賀英語道場・佐賀日仏文化会館」設立
- 1983年 「地球市民の会」設立
- 1986年 第1回小さな地球計画開始
- 1987年 日タイ協力事業開始
- 1988年 日韓交流プログラム「かちがらす計画」開始
- 1990年 地球市民奨学金開始
- 1992年 人間の持つべき文明「テラアピール」発表
- 1993年 地球共感シンポジウム、アジア太平洋協力会議 実施
- 1995年 地球市民運動全国会議実施、スリランカ協力事業開始
- 2002年 NPO 法人格取得
- 2003年 ミャンマープロジェクト開始
- 2008年 創始者 古賀武夫 逝去
- 2009年 人間の持つべき文明 2009「テラアピール 2009」提唱
- 2009年 佐賀市中山間地元気再生事業開始
- 2010年 国税庁より認定 NPO として認定



地球市民の会組織図 2011年度

地球市民の会 主な褒章

- 1988年 サントリー地域文化賞
- 1989年 国際交流基金地域交流振興賞
- 1994年 佐賀県県政功労者知事賞
- 1996年 自治大臣表彰
- 1996年 厚生大臣感謝状
- 2000年 外務大臣表彰
- 2003年 にしぎんアジア貢献賞
- 2006年 地球倫理推進賞
- 2006年 文部科学大臣奨励賞

